

オナモミ

【 *Xanthium strumarium* 】

科名 キク科

属名 オナモミ属

薬効・用途

果実（蒼耳子 ソウジシ）は、解熱、発汗、鎮痙薬として風邪を引いたときの頭痛や鼻炎、蓄膿症、リウマチなどに用いられる。また、茎葉はあせもや皮膚ただれに効用があり浴湯料としても利用される。



・花期：8～10月

備考

一年草。アジア大陸原産で日本各地に自生する。和名は「雄なもみ」で「なもみ」はひっかかるという意味の「なずむ」に由来するなど諸説ある。トゲトゲした実が服にくっつくので「くっつき虫（ひっつき虫）」という別名もある。雌雄異花。